



会報
46

おにぎり

路上の命にあなたの思いを

2024年11月00日
認定特定非営利活動法人
ホームレス支援

福岡おにぎりの会

<http://www.oniginokai.com>
oniginokai@gmail.com



すべての重荷を負うて苦勞している者は
わたしのもとに来なさい

あなたがたを休ませてあげよう マタイ 11.28

理事 コース・マルセル 美野島司牧センター主任神父

私がホームレスの存在に気づくには長い道のりがありました。まず、神様からの大きな恵みです。日本に到着した時(50年前)迎えてくれたのは、JOC(カトリック青年労働者)自分の宣教会の担当司祭でした。彼のおかげで日本の若い労働者と出会うことができました。最初から、この小さな人の目を借りて日本の社会を見ることができたことは大きな恵みだったと思います。そのおかげで今の「美野島司牧センター」は20年後に小さな人々、特に社会の底辺に押しやられた貧しい人々や、取り残された人々、「のけ者」が人間らしく生きていける状況を作り出すことを求め始め、彼らの命、人としての尊厳を守り、共に歩むためにホームレスの活動を始めました。

はじめに北九州の若松教会の主任になりました。その時長崎で、「正義と平和協議会」の全国大会の後、仲間たちと共に「野宿者の命を守る」というテーマで支援グループを始めました。駅や、公園のベンチ、橋の下で寝泊まりしながら日雇いで働いている人々が見えてきました。その時の野宿者は筑豊炭鉱で働いた年配の方が多く、私たちはどういふふうにならに彼らに接触するかを迷っていたので、福岡の日雇い労働者組合(福日労)に頼んで、この方々に毎週私たちを導いてもらうために、福岡から北九州に来ていただいていた。そしてグループ全体の取り組みとして野宿労働者支援活動を教会信徒の活動と位置付けまし

た。北九州市における実態調査の折、順番に教会でおにぎりを作り配りに行きました。1990年ごろにはプロテスタントのバプテスト教会(奥田牧師)なども活動に加わり、「北九州越冬実行委員会」となりました。

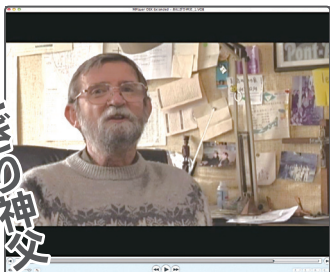


田美野島司牧センター

1994年に福岡の美野島司牧センターに派遣されました。

昔の出来事ですが、私にとって衝撃的な出来事だったので、昨日の事のように覚えています。ある11月の終わりの寒い夜でした。北風が強く吹いて寒かった。炊き出しのおにぎり味噌汁を持って、夜回りをしていたとき、一人の野宿者が私に話しかけてきました。「自分の仲間が病気で倒れて起きられない状態になっている。」と、そしてその人が寝ている所に私を連れて行きました。そこは、那珂川のすぐそばでダンボールの中には、はじめ、ぼろぎれしか見えませんでした。近づいてひざまずき、覗いてみると、ぐったりとした顔がありました。土で汚れていた顔を布切れで

2009
おにぎり神父



そっとふきながら、「先輩、暖かいお味噌汁とおにぎりを持ってきましたよ」と声をかけましたが、彼は何も答えることができなくて、ただ涙を流していました。彼はその時、物が食べられる状態ではなさそうだったので、私の車に乗せて救急センターに連れて行きました。幸いに当番の先生はとっても親切な方だったので、説明を受けて、すぐレントゲンを撮りました。その人の肺は真っ白だったのでそのまますぐに入院されました。

1ヶ月後のちょうどクリスマスの時、病院にお見舞いに行きました。彼はだいぶ元気になっていました。「クリスマスおめでとう。」そして、私は「あの時あなたはすごく苦しんでいたみたいね。涙をボロボロ流して。」しかし彼は答えました。「いいえ、あの時の涙は痛みの涙ではないのです。嬉し涙だったのですよ。私は人生で初めて大切にされたので…」びっくりしました。確かに彼は大変な病気がありましたが、彼の一番大きな苦しきは、貧しさや病気だけではなくて孤独だったのです。

彼が一番飢え乾いていたのは、食べ物だけではなく、人間としての尊厳、理解溢れる愛だった



のです。この出会いが、私にホームレスの活動への深い心の気付きとなりました。

また、私はイエス・キリストの弟子であることを、より深くするきっかけにもなりました。やはり、自分の人生の歴史の中でいろいろな出来事や、人との出会いを通して神様は合図を送って私たちを導いてくださいます。皆さんは私と同じように、もうすでにその体験をされたのではないかと思います。

このホームレス活動をするために驚くほどのたくさんのボランティアが集まってきました。宗教、思想、文化を超えてこの支援活動は、教会の中でカトリックだけではなく、プロテスタントの方や仏教の方などさまざまな人が参加してくれています。いろいろな方々が同じ心、すなわち、小さくされた人々への愛と尊厳を見守って、しばらく彼らと共に歩みたいからです。私は大きな喜びと感激を覚えます。

来年の5月に退職して故郷に戻りますが、皆様と共に歩めたこと、受け入れていただいた事を忘れることはありません。心より感謝いたします。

私の半生と おにぎりの会に関わること

大塚 舞鶴 コース
三宅 紀幸

私は、三宅紀幸、今年56歳になります。出身は北海道で、27歳のときに道外へ、19～27歳までの8年間自衛隊におり、任期満了にて辞めて、千葉県へ就職し紆余曲折して現在福岡に約13年います。33歳から43歳の10年間5回ほど刑務所に行きました。罪状は窃盗です、あまり詳しく話したくはないです。最後に出てから日雇いの作業員として約3年間働き、コロナや会社の方針が気に入らず、当てもないまま飛び出し、ホームレスとなり約3か月経過した後、心の中で『どうせ何とかなる』という気持ちと、『50代で本当はどうにかなるのか?』という葛藤があり、このまま野垂れ死には嫌だ、もう真面目に人生を生きようと決心し、部屋を借りたいと思い、おにぎりの会に相談し、部屋を借りることができました。

話しは前後しますが、ホームレス時代の話を書きます。なりたての頃はすぐにでも仕事も部屋も見つけられると高をくくっていました。ですが、現実にはもう20代～30代ではなく、客観的に見てただのおじさんです。そう甘くもなく、悶々と日々を過ごしていました。炊き出しに初めて並ぶ時も、最初は『お前たちとは違う』という変なプライドで並んでいる連中(仲間)を心の中で見下していました。これまで楽道家であり、ギャンブル好き(パチスロ)で何とか生きてきたという事実が私を墮落させました。すべて自己責任です。結局自分一人でもどうにもならず、人生で初めて他人を利用するのではなく、他人の力をお借りして死ぬまで真っ当に生きようと思い至りました。しかし、一年近くたつとまたギャンブル好きのバカが目覚め、生活保護費を全て使い込み、生活できなくなり部屋を飛び出し、2回目のホームレスになりました。すぐにでも、またおにぎりの会の方に相談をすればよかったのですが、やり直したいと部屋を借りた事に対して完全な裏切り行為をしてしまったことに後ろめたさを感じ、おにぎりの会に



は顔を出せず、めぐみの家に相談し、もう一度生活保護で部屋を借りることができました。もう何度も失敗してきて、ようやく本当に目が覚め、仕事に就き、思い悩んだ末に、やはりここはちゃんとおにぎりの会のスタッフの方に謝ろうと思い、殴られる覚悟で謝罪しました。しかし、殴られるどころか、長い説教もなく、ただただ無事で生きてくれているか心配していたので安心した、と言っただけ私は何という事をしてしまったんだろうと思い、この人達を二度と裏切らないようボランティアのお手伝いもしようと思いました。仕事に就いてもボランティアを続けました。最初はフルタイムで働いていましたが、仕事の仕方や人間関係に悩みメンタルが乱調になり、3カ月でスッと辞めました。その時、私が思ったことはホームレスには絶対に戻りたくないということでした。仕事の仕方や人間関係に悩まず、仕事やボランティアに打ち込み、ストレスを溜めずに生活するためにはどうしたらよいかハローワークの紹介担当の方に相談したところ、いきなりフルタイムではなくパートタイマーで一人仕事を見つけてみては?とアドバイスを受け、マンションの共用部清掃という週に5日、午前中3時間で、月に6万円ほどの仕事に就くことができ、1年3カ月が過ぎようとしています。この仕事に就いてから心に余裕ができ、ボランティア活動にも集中できるようになりました。

ボランティアをしていく中で最初は今までホー

私の半生とおにぎりの会に関わること

ムレスをしていた自分が物をお渡しするという立場になり、とても不思議な気持ちでしたが、ボランティアをしていくうちに心のなかで変化がありました。『ボランティアのほんの少しの手伝いをやっているだけ、俺は手伝い、だから物を渡すだけでいい』と思っていましたが、実際にホームレスの方と顔なじみになり思いや悩み、相談を聞いていくうちに他人の話しをちゃんと聴き、対処できるように自分自身ものすごく驚きました。それまでの私は私自身の考えばかり優先し、間違っ
てはいないという思い込みが激しく、言わなくてもいい一言二言がとても多く、他人を多々怒らせていました。それでも私は間違っ
てはいないのだから他人が怒ったり無視したりするのがとても理不尽だと感じていましたが、それが大いに間違っ
ていたことに気付かされ、少しずつでも性格を変える努力をしようと思いました。

そこで、ある記憶が甦りました。死ぬ直前にもらった母親からの手紙の内容の一部です。『世の中の人
は十人十色なのだから何事にも好き嫌いせず、ああ
こういう意見もあるんだ、こういう人もいるんだと相
手を尊重してください。こういうことはこうだからと、
意見を決めつけないでください。そして、ギャンブルを
止め、まともに働いてください。お金というのは自分自
身で苦勞して得てこそ回り回って自分に返ってくるも
ので、昔から悪銭身に付かずという言葉があります。ど
うか真面目におってください』、これが母親の最後とな
り、私は育ててくれた母親の死に目にも会えず、遊び
惚けてホームレスにまでなりました。後悔先に立たずと
はよく言ったものです。親の言う事はちゃんと聞いてお
くものだ
と心の中からそう思い震えました。

50代半ばでようやく人並みの考えに気付かされました。それからというもの、これまで鬱陶しく思っていた他人との世間話
しや相談等にも耳を傾けることが素直にできるようになりました。自分自身変わらねばという想いと、おにぎりの会
の皆さま方の熱意と優しい心が私に多大な影響を与えたことは間違いありません。それが



ら、今までに会ったすべての人々に感謝したいと思
いました。

話しは変わりますが、この間、スタッフの木戸さ
んに誘われて若者との交流会に参加させていただきました。何をどう話せばいいかわかりません
でしたが、話し始めると、今までの自分の体験談
やホームレスに落ちる可能性は誰にでもあると
いうこと、そして、ホームレスには自分からは行か
ないでほしいと、苦しいときに相談できる人を身
近に置いといてくださいということ話をさせて
いただきました。交流会が終わってから自宅に帰
宅した後にふと思ったのは、交流会で若者に話
をしていたのではなく、自分自身に言い聞かせて
いたのかもしれないという想いでした。ここま
での心境の変化に自分自身大変驚いております。

しかしながら、50数年同じ性格で今まで生き
てきた私なのでこれからも言わなくていい一言
二言があると思います。皆様においては迷惑千
万でしょうが、ご容赦ください。自分自身では
気付かないので皆様のご意見やご指摘、アドバ
イスを私自身素直になり待っています。

これからの目標は仕事時間を増やし、生活保
護を完全に打ち切り、本当の意味での自立を
目指して生活していくことです。そう思えたのは、
やはりおにぎりの会の方々の情熱と優しさであり、
これからもボランティアをし続けたいと固く心
に思いました。

2024年12月7日(土)

越冬大会

冷泉公園 (福岡市博多区上川端町7)

- ①調理活動に参加希望の方
9:30に美野島司牧センター集合
- ②現地設営に参加希望の方
12:00に冷泉公園に集合

冬を迎えるにあたり、ホームレス状態にある方、スタッフやボランティアの気持ちをひとつにするために、越冬大会を開催します。皆で肉井とラーメンを食べながら親睦を深めましょう。

ボランティアが初めての方も参加しやすいイベントです。ぜひ、お越しください。

博多とんこつラーメン

人気 名物特選肉井



(もちろん、お土産あり!)
(もちろん、衣類出しも!)

できるようになりました!
オンライン寄付が



オンライン寄付は



こちらから

当会では、これまで銀行振込か郵便振替でのご寄付をお願いしていましたが、多くの方からオンライン寄付や、クレジットカード決済などができるようにしてほしいという声を頂いておりました。

今回、SyncableというNPOの寄付に特化した決済サービスに登録し、オンラインでの銀行振込やクレジットカード決済ができるようになりました。

現状の郵便振替等も引き続きご利用いただけます。今後も福岡おにぎりの会へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



メールでの情報配信をどうぞ

メールでの情報配信は

ご要望にお応えして、会報などのメール配信をご希望の方は右記のQRコードからまたは①氏名②住所③メールアドレス④電話番号⑤会報等への氏名記載の可否、をご記入いただき事務局(onigirinokai@gmail.com)までご連絡ください。

郵送をご希望の方は、これまで通り対応いたします。



こちらから

越冬炊き出し・夜回りのご案内

来年は2025年1月10日(金曜日)より

12月から越冬活動期に入ります!

12月~3月第2週までの毎週金曜日



夜回りボランティア参加について

- 調理——(2月、3月は大名町教会 厨房にて
金曜日 14時 美野島司牧センター 厨房
- 夜回り——(2月、3月は大名町教会 1階講堂にて
金曜日 20時 美野島司牧センター 講堂

※初めて参加される方は午後7時に集合してください。
活動前のレクチャーを行います。また、関心のある方が
いらっしゃいましたら、お誘いあわせの上ご参加ください。

例年行っております、越冬活動の炊き出し夜回りを12月から3月2週目まで、毎週金曜日に実施いたします。

路上での生活を強いられる方々は、この時期の寝泊まりには非常に気を遣い、夜中に歩き回る方もいます。彼らの心と体が暖まるよう、みなさまのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。(ただし1月3日は休みです)

支援物資について

- ①冬物防寒着(男性物) ②下着(新品)
 - ③靴下(新品) ④寝袋 ⑤湿布 ⑥テレカ
 - ⑦歯ブラシ、はみがき、ひげ剃り、くし、石鹸
 - ⑧タオル(バスタオル、ハンカチなどは不可)
 - ⑨靴(革靴は不可) ⑩米(精米されたもの)
 - ⑪鞆(できれば大きめのリュックサック)
 - ⑫マフラーやニット等の小物
 - ⑬カップラーメン、缶詰め等日持ちする食品
- (詳しくはホームページをご確認いただくか、事務局までお問合せください)
※小さな団体ですので物資を取りに行くのが難しい状況です。
お手数ですが発送、もしくは直接お持ちください。
よろしくお願いします。



カトリック大名町教会 カテドラルセンター(西鉄グランドホテル前)

協働グループ **スープの会**

2025年2月よりスタート

問合せ 深堀 伸一 080.1793.0481
飛永 薫 080.4317.4152
前田 由樹 090.8412.7803

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目7番7号 TEL 092-741-3687



2025年3月28日(第3金曜日)からは、美野島司牧センターよりスタートします。

●連携団体一覧

順不同

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 有限会社アッセ | チーム田中屋 | マルエ醤油株式会社 |
| 大萩茗荷村 | 千鳥橋病院 | 肉のマルトミ |
| カトリック福岡司教区 | 博多区保健福祉センター | 美野島めぐみの家 |
| グリーンコープ | 平尾バプテスト教会 | 有限会社リヴィングオフィス |
| 巡回ふくおか | フードバンク福岡 | 礼拝会 |
| 障害者基幹相談支援センター | 福岡県司法書士会 | 山崎税務会計法律事務所 |
| 浄土真宗本願寺派 福岡教区有志 | 福岡市社会福祉協議会 | 株式会社 AZOX |
| 福岡市生活自立支援センター | 富士食品 株式会社 | 株式会社 KOBUSHI |
| 聖公会 福岡聖パウロ教会 | 不二精機 株式会社 | 救護施設 野の花富楽和 |
| 太宰府参道 天山 | 抱樸館福岡 | 救護施設 仁風園 |
| 地域包括支援センター | ホームレス支援全国ネットワーク | 福岡市居住支援法人連絡協議会 |
| | | 福岡市若者支援団体ネットワーク |

みなさまのご支援によって活動が続けられることを、心より感謝申し上げます。
今後ともご支援ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

私たちの活動を会員になって お支えください

正会員 年会費 12000円 税額控除なし
賛助会員 一口 3000円 税額控除あり

郵便振替口座 01770-5-130212

福岡銀行 住吉支店 普通 1541480

LINE



H.P



facebook



認定特定非営利活動法人ホームレス支援

福岡おにぎりの会

〒812-0017 福岡市博多区美野島 2-5-31

(美野島司牧センター内)

電話/ファクス 092-431-5785

(月・火・水・木・金 9:00~17:00)